

# リオン の 風

## 第103期 事業報告書

2023.4.1-2024.3.31

### CONTENTS

一目でわかる決算情報	1
トップインタビュー	3
<b>特集1</b> 創立80周年、 変わらぬ想いと飽くなき挑戦	7
<b>特集2</b> リオネット2シリーズに充電式耳かけ型 補聴器(RIC)が新たに登場	9
トピックス	11
業績の推移	12
会社案内	13
株主メモ	14
残したい“日本の音風景100選”	裏表紙

### 残したい“日本の音風景100選”

リオンと音風景の関わりについては  
裏表紙をご覧ください。

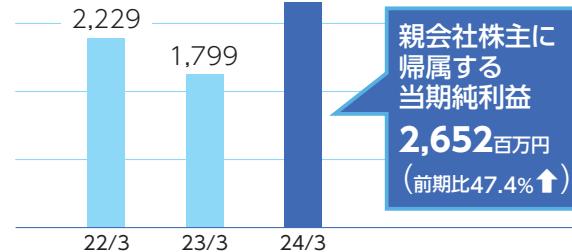
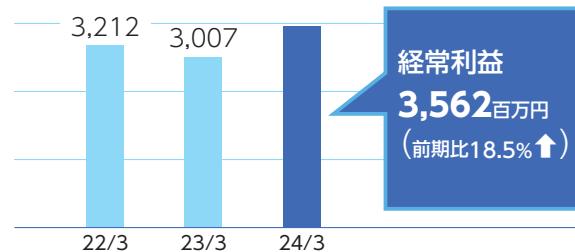
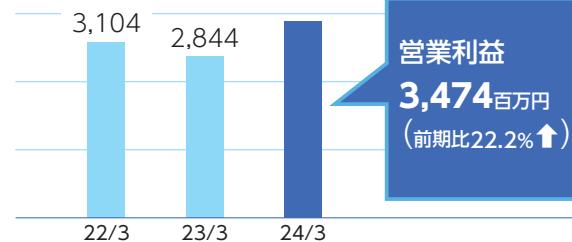
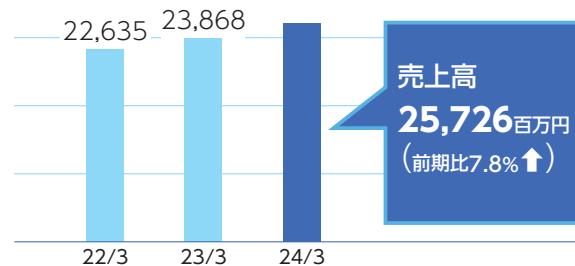
決算の  
ポイント

- 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに過去最高を更新
- 微粒子計測器事業の大幅な伸長が全体の業績を牽引

2024年度  
の見通し

- 新製品の投入や生産能力増強に向けた継続的な投資によって、さらなる増収増益を見込む

### 決算ハイライト



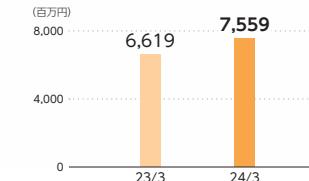
### 事業別ハイライト

#### 微粒子計測器事業



売上高 **7,559**百万円 (前期比14.2%↑) 営業利益 **2,062**百万円 (前期比34.1%↑)

##### 微粒子計測器



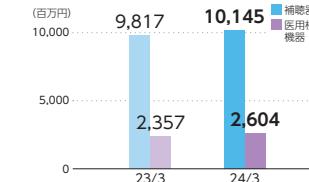
液体や気体の中に浮遊する微粒子を測定する微粒子計測器を提供し、高い清浄度管理が求められる半導体などの精密機械や医薬品の製造現場では、ユーザーからの高い信頼を得ています。当期は半導体関連市場において、世界各地で設備の新設・増強等の投資が堅調に推移し、半導体製造工場で使用される液中微粒子計測器の販売が好調に推移した結果、過去最高の売上高・営業利益となりました。

#### 医療機器事業



売上高 **12,749**百万円 (前期比4.7%↑) 営業利益 **1,308**百万円 (前期比30.0%↑)

##### 補聴器／医用検査機器



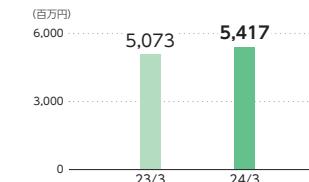
難聴の発見から解決まで一気通貫の価値を提供し、一人ひとりの聞こえに寄り添い続けています。当期はオーダーメイド補聴器の新製品「リオネット2」を中心とした高付加価値製品の販売が貢献したほか、社会活動の回復により来店客数が好調に推移しました。また、医用検査機器では、顧客である医療機関において設備投資が回復し、オーディオメータ等の販売が好調に推移したことで、増収増益となりました。

#### 環境機器事業



売上高 **5,417**百万円 (前期比6.8%↑) 営業利益 **104**百万円 (前期比65.2%↓)

##### 音響・振動計測器



騒音計、振動計、地震計など、環境行政や産業の多彩なニーズにきめ細かく応える製品を提供し、国内外の環境・産業計測市場を支えています。当期は海外市場において騒音計の新製品の販売が堅調に推移したほか、Norsonic社の業績が通期で売上増加に貢献した一方で、新製品の発売に伴う費用が発生したことなどにより、増収減益となりました。



代表取締役社長

いわ はし きよ かつ  
岩橋清勝

## 売上高・利益ともに 過去最高を更新しました。 より一層社会に貢献するとともに 企業価値を高めてまいります。

**Q** 通期の業績と来期の見通しについて、  
お聞かせください。

2023年度の業績は、微粒子計測器事業と医療機器事業の販売が好調に推移したことで、売上高・利益ともに過去最高を更新しました。

高い成長を続ける微粒子計測器事業の主な要因は、世界各地においてAI(人工知能)やEV(電気自動車)、データセンターなどの幅広い分野で半導体が求められていることが挙げられます。半導体関連市場では、半導体の性能向上

に向けた研究が継続的に進んでおり、量産に向けた新たな設備投資が行われています。当社の液中微粒子計は、半導体の製造工程で使用される薬液などの清浄度を管理するために使われています。旺盛な半導体需要に伴い、当社製品の需要もさらに増加するものと予想しています。

次に医療機器事業においては、幅広い年齢層に難聴と認知症の関係性が認識され始めたことで、補聴器の必要性を意識する機会が増えています。その背景には、海外の医学誌において「難聴は認知症のリスク要因になる」と発表されるなど、国内外の研究によって難聴は聞こえの低下にとどまらず、認知症やうつ状態につながる可能性を指摘されていることが挙げられます。また、自治体によっては、補聴器の購入費用を助成する体制を整えており、中には対象年齢や助成回数などの拡充を検討している自治体

もあるようです。当社は、補聴器や聴力を測定するオージオメータを通じて聞こえに対する困りごとや不安がある方に寄り添い、快適な聞こえをお届けしています。医療機関との連携をより強化することで、聞こえにお困りの方に当社製品を広く周知していくとともに、5月に発売した充電式耳かけ型補聴器による製品ラインナップの強化によって、売上高の拡大を図ります。

このような状況が引き続き推移することから、来期も事業全体で増収増益を見込んでおります。

**Q** 創立80周年を迎え、改めてリオンの強みをお聞かせください。

戦争の厳しさが増す1944年の創立から、ただ80年の時を重ねたのではなく、幾多の困難を乗り越えて現在に至ります。戦後の混乱やバ

### 企業理念

#### リオンはすべての行動を通して人へ社会へ世界へ貢献する

この企業理念は、次に掲げる意義を表わす。

- 1 社会に対し"悪しきことをしない"ことではなく"良きことをなし貢献する"
- 2 "社会貢献こそが究極の目的であり、収益の確保と投資はそのための手段にほかならない"
- 3 "従業員が志と使命感を抱き、誇りを持って、業務を通じて社会に貢献する"
- 4 "社会貢献の志と力量のある人材を育成し、輩出し続ける"

### 経営理念

- 1 クオリティーオブライフ(生活の質の向上)  
当社は、当社製品をご愛顧頂くお客様の"生活の質の向上"を目指して、従業員が一丸となって誠心誠意努力する
- 2 バリアフリー(障壁のない社会)  
当社は、当社製品をご愛顧頂くお客様が"障壁"を感じることなく市民社会で活躍できる製品・サービスを提供する
- 3 エコ・マネジメント(環境管理)  
当社は、企業の社会的責任の一環として、全事業分野において環境負荷の低減を意識した活動を実践する

ブル崩壊、リーマンショック、新型コロナウイルス感染症の拡大など事業を取り巻く環境に大きな変化がありました。そのような中で、社員は変化を受け入れ、ひたむきな努力と創意工夫を繰り返すことで乗り越えてきました。この、粘り強い社員をつくる社風こそが当社の強みであり、社風の根底には企業理念に基づく社会貢献の心が根づいています。

また、当社には、時代の変化とともに柔軟な提案ができる技術の蓄積やノウハウがあります。既存事業を深掘りすることや事業の強みを組み合わせることで、新たな事業が生まれる可能性を秘めています。市場のニーズに耳を傾け、新たな価値を提案することで社会課題を解決し、当社の存在価値をさらに高めることにつながります。一日一日を積み重ねることで創立100周年、さらにその先を迎えることができると考えています。

**Q** 多様化、高度化するニーズに応えるための技術の活用について、お聞かせください。

今年度、開発部門の組織変更を行いました。多様化・高度化するニーズに応えるために将来

を見据えた研究開発を行う部門として研究開発センターを新たに立ち上げるとともに、新製品開発を迅速に遂行する開発部門を各事業部のなかに設け、それぞれに技術者を再配置しました。

これまで当社のすべての技術者が所属していた技術開発センターは、各事業に共通する課題やテーマに向かって協働することを目的に2019年4月に設立しました。当時、急速に進む世の中のデジタル化に対応するためには、デジタル技術を基盤とした製品開発力の強化がすべての製品に共通する課題でありました。この5年間、従来から行っていた技術交流会に加え、プロジェクトごとの進捗報告を毎週行うなど、各技術者が取り組んでいる課題に対して、意見を共有できる環境を整えました。そこでは、技術者同士が製品セグメントの壁を越えてアイデアを出し合い、困難な課題を克服し製品化を実現した事例もあります。引き続き技術者が意見交換できる場を設けながら、組織変更によって開発力をさらに強化し、競争力を高めてまいります。

**Q** 社会の変化を見据えた施策について、お聞かせください。

世界的な半導体需要の増加に伴い、微粒子

計測器の需要も大きく増加したことに対応するため、人材と設備を増強しています。このことをきっかけに、当社全体の生産性と製品品質のさらなる向上を目的として、生産、品質管理及び部材調達などの生産に関わるプロセスを集約した部門として生産本部を新設しました。すべての生産プロセスを見直し、生産性の向上を図ることにより、今後の業容拡大に対応してまいります。

過去最高の業績を達成し、創立80周年を迎えることができましたのは、ひとえに当社を応援して下さる関係者の皆さま、特に株主の皆さまのご支援の賜物と感謝いたします。これからも事業活動を通じて、より一層社会に貢献す

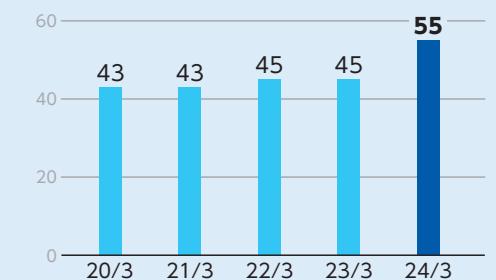


るとともに企業価値を高め、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

### 株主還元に関する基本方針

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要政策のひとつと認識しており、継続的な配当の維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを基本方針としております。内部留保金の用途につきましては、企業価値の増大を図ることを目的として、中長期的な事業拡大のため、研究開発・製造設備等に戦略的に投資し、長期的な競争力の強化を目指してまいります。なお、剰余金の配当は、中間と期末の年2回実施しております。

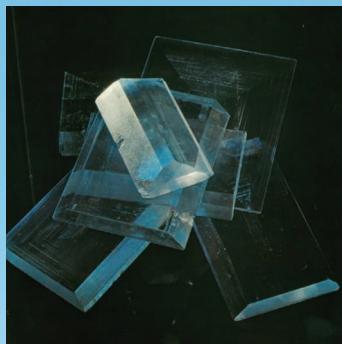
1株当たり年間配当金の推移 (単位:円)



# 創立80周年、変わらぬ想いと飽くなき挑戦

1944年6月21日、音響学と物理学の民間研究所である小林理化学研究所(現・一般財団法人)の研究成果の製品化を目的として設立されました。今では研究成果の製品化に留まらず、音と振動の分野を広く探究するとともに、音とは異なる微粒子計測の技術を確認するなど、独自の発展を遂げてきました。挑戦を続ける原動力に迫ります。

創立時、音を伝えるうえで欠かせない物質として製造されたロッシェル塩の単結晶



## 1 小林理化学研究所の創始者であり、 リオンの初代社長でもある小林采男の想い



小林 采男

小林采男は仏教に造詣が深く、自身が僧侶になりたかったそうです。人々の安寧を願い、困っている人々に救いを与えるためです。やがて、20世紀初頭の激動の時代を生き抜くなかで、自身の想いを現実のものとするには、科学の力、技術の力が必要だと考えるようになりました。より良き社会を実現するために力になりたいとの想いを強め、その想いが当社創立の原動力となりました。科学と技術によって、人々の暮らしをより良く、健やかな社会を支えたいという熱い想いは変わらず脈々と受け継がれています。

## 2 主力4製品のはじまり 共通する想いは“人へ社会へ世界へ貢献”

### 補聴器

難聴に悩まされていた大学教授からの相談に応え、当社の補聴器開発はスタートしました。

1948年  
日本初の  
量産型補聴器  
「H-501」  
発売



### 医用検査機器

医療機関等において聴力の状態を的確に診断する要望に応じて開発されました。

1952年  
当社初のオーディオメータ  
「A-1001」を発売



### 音響・振動計測器

戦後の復興期、工場などの騒音が社会問題に。補聴器や音響製品の技術を活かし開発されました。

1955年  
当社初の  
小型騒音計  
「N-1101」を発売



### 微粒子計測器

大気汚染や室内の環境衛生問題に対応する測定器として、輸入販売から自社開発へと歩みを進めました。

1977年  
国産初の  
気中微粒子計「KC-01」を発売



## 3 日本初・世界初を生み出すチャレンジ精神 蓄積した技術で新たな価値を創り出す

### 生物粒子計数器

微粒子計測器の基礎技術を応用し、水中の微生物を検出することで、浄水場などの水質管理に貢献しています。



### 軟骨伝導補聴器

外耳道閉鎖症など、一般的な補聴器の使用が難しい方に向けて開発された、軟骨から音を伝える新しいタイプの補聴器です。



### 騒音ばく露計

騒音作業場における作業者の健康障害を予防するため、労働衛生の分野へ新たに進出しました。



# リオネット2シリーズに 充電式耳かけ型補聴器(RIC<sup>※1</sup>)が新たに登場

2024年5月、リオネット2シリーズに充電式耳かけ型補聴器(RIC)が加わりました。本製品はパナソニックと次世代の補聴器を共同開発するアライアンスを締結したことにより実現。共同開発においては、当社の快適な装用感を生む形状(リオネットカーブ)や防水・耐汗技術など、信頼性の高い構造に関する知見と、パナソニックの充電制御やワイヤレス通信に関するノウハウを融合しました。両社の強みを活かした機能を搭載することで、より快適な日常生活をサポートいたします。

※1 従来の耳かけ型の本体内にあったイヤホンを外耳道に入れることで、より自然な聞こえを実現します。

## 新製品の特長

最新信号処理技術  
リオネットエンジン2

- 「自然な聞こえ」の追求
- AI搭載

充電・  
防水・防塵性能

- 電池交換の負担解消
- 防水・防塵国際保護等級(IP68)に適合

共同開発  
アライアンス  
に基づく共創

リオンの  
知見

- 快適な装用感を生むデザイン(リオネットカーブ)
- 防水・耐汗技術

パナソニックの  
ノウハウ

- 充電制御
- ワイヤレス通信



スマートフォン  
アプリ

- メモリ音量切替機能
- セルフ調整機能

ワイヤレス  
通信機能

- テレビの音やスマートフォンの通話音声などが直接届く

## 好みに合わせて選べるカラーバリエーションと 汗やホコリに強い構造



「暮らしと、私に溶け込む」をキャッチコピーに、従来の補聴器イメージを刷新する、「ヒトに馴染むデザイン」をコンセプトとし、「スモーキーブラック」と「カームグレー」などのカラー4色を展開します。また、密閉構造にしたことで、汗や湿気、ホコリに強く、故障しにくさを実現し、より安心してお使いいただけます。

## ワイヤレス機能でより快適な聞こえを実現

スマートフォンやタブレットとつながることで、補聴器から直接音声が届く<sup>※2</sup>、よりクリアな音質で通話や音楽鑑賞、動画視聴を楽しめます。また、テレビにテレビアダプター(別売品)を接続することで、テレビの音声も補聴器に直接届きます。家族や友人とのテレビ視聴をもっと楽しむことができます。



※2 iOS14以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touchに対応しています。Androidについては、補聴器のアップデートによりLE Audioに準拠したスマートフォン、タブレットに今後連携が可能となります。

## トピックス

Topics

### 1 NEDO公募「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体製造技術の開発」に参画

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体製造技術の開発」事業内の「Beyond 2nm世代向け半導体技術開発」において、技術研究組合最先端半導体技術センター(以下、LSTC)が提案し、採択された「Beyond 2nm及び短TAT半導体製造に向けた技術開発」の一部について、LSTCからの再委託先として本事業に参画いたします。

当社の微粒子計測器は、半導体の製造工程で使用される薬液等の清浄度を管理するために使用され、高機能化が進む最先端の半導体製造現場において重要な役割を担っております。当社は本事業を通じ、次世代半導体に関連する研究開発を更に進めてまいります。



#### 【参考情報】経済産業省の資料

「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体製造技術の開発」の採択事業テーマ概要

→ [https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/joho/post5g/pdf/240209\\_theme\\_01.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/post5g/pdf/240209_theme_01.pdf)



### 2 作業者の負担を軽減する小型軽量の騒音ばく露計「NB-14」を発売

2月19日、騒音作業場から作業者の健康障害を予防するため、個人ばく露測定で使用する騒音ばく露計「NB-14」を発売しました。騒音性難聴は、大きな音が常に発生している環境に身を置いている方が発症しやすい難聴です。2023年4月に厚生労働省が「騒音障害防止のためのガイドライン」を改訂したことで、新たに個人ばく露測定による管理が導入されました。作業者のばく露量を個別に測定・管理することで、騒音性難聴の早期発見とともに耳栓やイヤーマフなどの聴覚保護具の使用や発生源の低騒音化を図るなど効果的な対策につながります。

今後は安心・安全な作業環境に向けた個人の聴覚保護に対する意識向上や、当社が扱う聴力検査機器(オーディオメータ)で測定した聴力データと騒音ばく露データを一元管理するなど、騒音障害防止に関する全般的な取り組みを進めてまいります。



騒音ばく露計「NB-14」

騒音ばく露計の詳細はこちらをご覧ください。

→ <https://svmeas-rion.com/nb-14>



## 業績の推移

Financial Data

### 主な経営成績

(単位：百万円未満切り捨て)

	2020年3月期 (第99期)	2021年3月期 (第100期)	2022年3月期 (第101期)	2023年3月期 (第102期)	2024年3月期 (第103期)
売上高	21,465	20,466	22,635	23,868	25,726
営業利益	2,485	2,220	3,104	2,844	3,474
経常利益	2,577	2,297	3,212	3,007	3,562
親会社株主に帰属する当期純利益	1,779	1,636	2,229	1,799	2,652
純資産	22,232	23,726	25,289	26,612	29,211
総資産	29,850	30,683	33,157	34,557	37,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,696	2,064	2,841	1,783	2,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 969	△ 1,137	△ 951	△ 3,246	△ 2,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 528	△ 566	△ 541	△ 577	△ 565

### 1株当たりデータ

(単位：円)

純資産	1,810.87	1,931.15	2,057.40	2,163.30	2,372.88
当期純利益	144.96	133.27	181.41	146.33	215.51

### 主な指標

(単位：%)

自己資本比率	74.5	77.3	76.3	77.0	78.7
ROA(総資産経常利益率)	8.8	7.6	10.1	8.9	9.9
ROE(自己資本当期純利益率)	8.2	7.1	9.1	6.9	9.5
配当性向	29.7	32.3	24.8	30.8	25.5

詳しい財務情報は当社IRホームページをご覧ください。 <https://www.rion.co.jp/ir/>

# 会社案内 (2024年3月31日現在)

Corporate Data

## 会社概要

商号 …… リオン株式会社  
 本社 …… 東京都国分寺市東元町三丁目20番41号  
 創立 …… 1944年6月21日  
 資本金 …… 20億5,230万円  
 従業員数 …… 連結1,026名、単体508名  
 事業内容 …… ○ 微粒子計測器 ・ 微粒子計測器  
                   ○ 医療機器       ・ 補聴器  
                                   ・ 医用検査機器  
                   ○ 環境機器       ・ 音響・振動計測器

## 株式情報

発行可能株式総数 …… 32,000,000株  
 発行済株式総数 …… 12,327,900株  
 総株主数 …… 6,423名

## 大株主

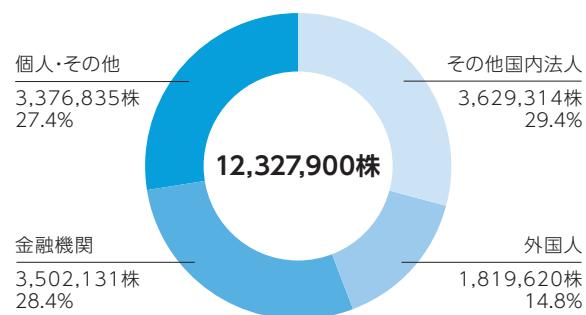
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
一般財団法人小林理学研究所	3,130,700	25.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,162,700	9.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,106,500	8.99
リオン取引先持株会	463,700	3.77
株式会社みずほ銀行	210,000	1.71
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	203,300	1.65
リオン従業員持株会	168,000	1.36
株式会社三井住友銀行	150,000	1.22
日本生命保険相互会社	150,000	1.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	147,600	1.20

(注) 持株比率は、自己株式17,382株を控除して計算しております。

## 取締役および監査役 (2024年6月25日現在)

代表取締役社長 …… 岩橋 清勝  
 取締役会長 …… 清水 健一  
 常務取締役 …… 加藤 公規  
 取締役 …… 篠崎 利之  
 社外取締役(独立役員) …… 築野 元則  
 社外取締役(独立役員) …… 濱田 喜久子  
 社外取締役(独立役員) …… 上田 麻理  
 社外取締役(独立役員) …… 高橋 和伸  
 常勤監査役 …… 中野渡 誠  
 社外監査役(独立役員) …… 佐久間 善弘  
 社外監査役(独立役員) …… 寺町 東子

## 所有者別株式分布状況 (持株数)



# 株主メモ

Stock Information

事業年度 …… 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 …… 毎年6月下旬  
 基準日 …… 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
                   中間配当 毎年9月30日  
 株主名簿管理人 …… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
                                   三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) …… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、单元未満株式の買取等のお申出先について …… 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払について …… 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## ● IRカレンダー



## 株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

### ジェフグルメカード(食事券)



100株以上 ▶ 500円分  
 500株以上 ▶ 1,500円分  
 1,000株以上 ▶ 3,000円分  
 5,000株以上 ▶ 5,000円分  
 10,000株以上 ▶ 10,000円分

【追加】100株以上かつ3年以上継続保有※ ▶ 1,000円分

※同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

### リオネット補聴器購入割引券



100株以上  
 ※メーカー希望小売価格の10%割引  
 (片耳購入の場合は1台分)  
 (両耳同時購入の場合は2台分)  
 有効期間：1年間

表紙の写真

一〇〇選

音風景

残  
し  
た  
い  
日  
本  
の



川のせせらぎや小鳥のさえずりとともに聞こえてくる心地よく雄大な汽笛の音は、人々の心を和ませます。

## 静岡県／大井川鐵道のSL

1925年、静岡県中央部を流れる大井川上流部の電源開発と森林資源の輸送を目的に大井川鐵道は設立されました。今では、鐵道の技術革新によって一時は姿を消した蒸気機関車(SL)の動態保存を行うなど、観光客を楽しませる役割を担っています。大井川に沿って力強く走行するSLは「シュッシュ」というドラフト音や「ポォー」という汽笛の音を山間に響き渡らせます。車窓からは、春なら桜、初夏は茶畑の新緑、秋は紅葉など四季折々の自然豊かな風景が広がり、どこか懐かしい旅情が味わえます。

大井川鐵道井川線が通る“長島ダム”には、当社の地震計が設置されています。強い地震が発生するとダムの安全性に影響を及ぼす可能性があるため、地震計で常に揺れを観測できる体制を整えています。今日もまた人々の生活に欠かせない水に関わるダムの安全管理に貢献しています。

### “残したい”日本の音風景100選”

残したい“日本の音風景100選”とは、1996年に環境庁(現・環境省)が選定した「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残したいと願う音の聞こえる環境(音風景)」です。この100選には、小鳥のさえずりや海の波音、祭りの掛け声など、自然や人が作り出す様々な音が含まれ、北海道から沖縄まで、地域ごとの音風景が紹介されています。

リオン株式会社 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41  
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 企画部 IR広報課)

<https://www.rion.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

